

生産工場でもリサイクルへの積極的な取り組みが行われています



▶ おたずねした会社 三菱自動車 (東京都港区)

### 6 製造事業者編

## 使用後を考えて車を開発

### リサイクルしやすさや素材も工夫

車のリサイクルへの取り組みは、設計・開発の段階から始まっています。自動車メーカーでは、車が使用済みになったときの部品の取りはずしやすさを工夫し、素材も再生利用しやすいものを多く使うようにするなどして、リサイクル率を高める工夫をしています。また生産工場では、車をつくるときに材料の切れはしを再資源化することでゴミも減らし、排出ガスや排水をきれいに処理して環境に影響が出ないようにしています。



「エクリプス クロス」熱可塑性樹脂の主な採用箇所



▶ おたずねしたところ JU長野(長野県中古自動車販売商工組合) (長野県塩尻市)

### 5 オークション会場編

## 車の再利用をあと押し

### 車を長く大切に乗り継ぐお手伝い



車を売りたい人と買いたい人を結ぶオークション会場



その日出品される車がずらりと並ぶ駐車場

HPでは自動車リサイクルをもっとくわしく学べるよ！「博士の日記」でこれまでの記事もチェックしよう！

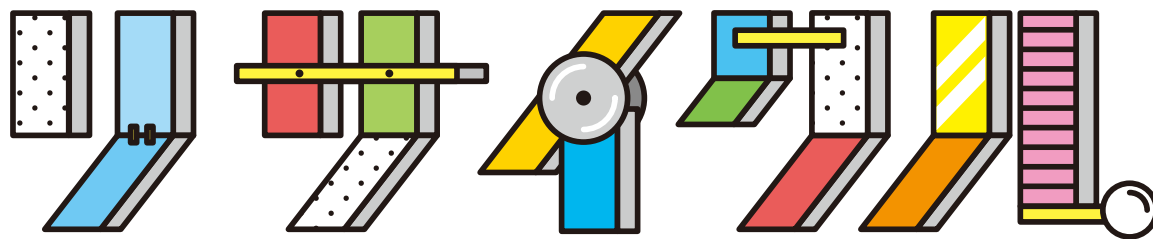
公益財団法人 自動車リサイクル促進センター Japan Automobile Recycling Promotion Center / JARC

https://www.jarc.or.jp



未来の地球のために!

# 進め! くるまの



まとめ編 多くの人が役割を担うことで成り立つ車のリサイクル



車はリサイクルのことも考えて設計開発されています。そして、私たちの暮らしてや産業を支えながら乗り継がれ、最後には使用済みになってリサイクルされます。その車の使用の中では、車をつくる人、売る人、整備をする人、リユースを促進する人、部品や資源を再利用できるようにする人、そしてフロンガスやエアバッグを正しく処理する人など、多くの人が関わっています。そして、車のユーザーも、車を買うときにリサイクルのための費用を支払い、使用を終えた車を引取業者に引きわた

## リサイクルを通じて環境を守る

すなど、車を使う立場としてリサイクルに関わる主要な役割を担う2員です。今日本では、1年間に300万台をこえる車が使用済みになっています。これら車に使われている鉄や銅、アルミニウムなどは限りある資源であるため、循環型社会を目指そうと、車に関わる人がおのおの大切な役割を担っているのです。それでは、自動車リサイクル博士とたずねた車のリサイクルに関わる人の現場をふりかえりながら、循環型社会を目指したさまざまな取り組みをもう一度学んでいきましょう。

## 車のほとんどをリサイクル!

### 4 整備事業者編

## 車のお医者さん!

### 車の健康をサポート!

日ごろから車をきちんと点検、整備することで、故障や事故を防ぎ、ユーザーが長く安全に乗れるようサポートしてくれているのが自動車整備工場です。また、整備士の人たちは、リサイクル部品を使うことにより、ユーザーが新品よりも安い部品を使うことができ、同時に資源の有効活用や、ゴミを減らすことにもなっています。



整備工場ではリサイクル部品も活用



車の整備やリサイクル部品の説明に博士も納得

### 3 販売事業者編

## リサイクルのかけはし

### ユーザーと車のリサイクルをつなぐ

車を販売したり、使用を終えた車を引き取ったりする自動車販売店は、ユーザーとリサイクルをつなぐかけはしにもなっています。それは、ユーザーが自動車販売店などで車を買うときに支払う「リサイクル料金」が、使用済みの車の「エアバッグ」「フロンガス」「シュレッダーダスト」の3物品を正しく処理するための費用に使われているからです。ユーザーも、販売店の人が「リサイクル料金」についてきちんと説明してくれるので、安心して支払えます。



エアバッグ フロンガス シュレッダーダスト

車は設計・開発の段階でリサイクルされることを考えてつくられているんだ。そして、使用済みの車の適切な処理には、たくさんの人に関わっているんだよ。それが、資源を有効利用する循環型社会につながるんだ。



### 1 解体事業者編

## 使える部品を再び利用

### まだ使える部品を生かす大切な取り組み

使用済みの車が最初に運ばれてくる場所が解体工場です。ここでは、安全に作業ができるようにガソリンやオイルを抜き取り、そして、地球温暖化などの原因となるカーエアコン用の「フロンガス」を回収し、しよげきを受けるとふくらむ「エアバッグ」を適切に処理します。次に、まだ使える部品をいねいに取りはずし、リサイクル部品として国内外のユーザーにおいて再利用されます。そのあとに残った車体は、解体・分別されて「破碎工場」へと運ばれます。



まだ使える部品の状態をいねいにチェック



外にもれないよう、フロンガス回収は細心の注意を払って

### 2 破碎事業者編

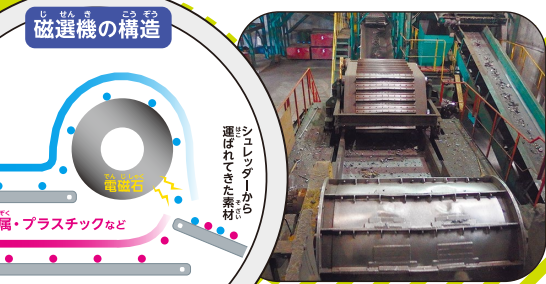
## 分別・回収される資源たち

### 分別・回収で資源に新たな命を!

破碎工場に運ばれた車体は、まずプレシュレッダーという機械であらくカットされ、次にメインシュレッダーで細かく砕かれます。そして粉々になった鉄や銅、アルミニウムなどの金属類が機械や人の手によって素材ごとに分別・回収されます。また、残ったプラスチックやゴムなどの「シュレッダーダスト」と呼ばれるクズも、土木工事の原材料や熱源としてほとんどがリサイクルされています。



破碎工場で回収された金属資源等の山。多いときには鉄だけでもひと月に約9000tも回収



磁選機の構造 選別された鉄資源 非鉄金属・プラスチック等 選別された鉄資源 選別された鉄資源

金属資源等の素材ごとの分別は、それぞれの性質を利用